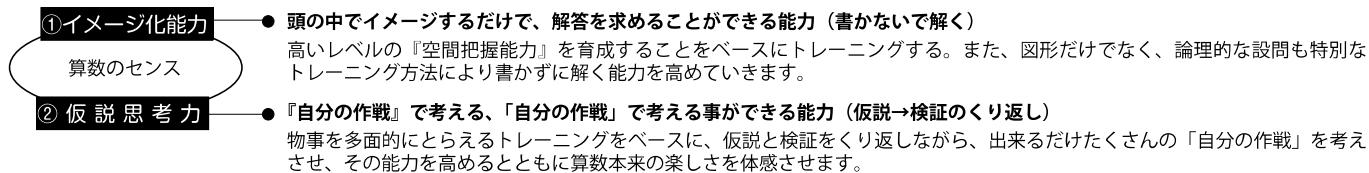


パズル道場

算数のセンスと様々な思考力を確かな理論と方法論で育成する頭脳トレーニング教室

パズル道場では、他に類の無い様々なプログラム&指導システムにより『算数センス』『様々な思考力』を効果的に育成します。

パズル道場で育成される能力



パズル道場では「難しい問題になればなるほど頭角をあらわす」「伸びる」子どもを育成します

パズル道場が考える伸びる子どもの定義は、『難しい内容になればなるほど頭角をあらわす子ども』です。

年令が上がれば難しい内容になりますので、将来伸びる子どもということです。中学受験なら、小学生の段階で頭角をあらわします。しかし、難しい内容になればなるほど、センス（感覚的要素）が必要です。パズル道場ではセンスの事を『見えない学力』として位置づけています。つまり、伸びる子どもはセンス（感覚的要素）があるということです。

パズル道場は、独自のプログラム・指導法・学習法により、『見えない学力』を向上させ、伸びる子どもを育成しています。

※『見えない学力』は、一般的な簡単なテストの点数にはあらわれにくいので、判断に注意する必要があります。

伸びる子どもは『見えない学力』が高い！

『できなくても、考えた分だけ、かしこくなる』は、パズル道場が『見えない学力』の育成を徹底的に行う講座として、かけた標語です。『見えない学力』は簡単に出来てしまったのでは育成されません。

	『見える学力』	『見えない学力』
評価と指導者の姿勢	通常のテストの点数を中心に判断 →『目の前の学力を身につけさせる事』が第一	通常のテストの点数だけでは判断できない →『先になって必要な学力』のことも想定しながら指導
学習内容	・知識／理論の理解と定着度 ・スピード ・解法テクニック ・正確性（得点能力） ・暗記力 ...etc.	<算数> ・イメージ化能力（頭の中で想像して解く能力） ・仮説思考力（自分の作戦で考える能力） →自分の作戦を立てるという事は、「仮説→検証」をくり返すことになる。 <国語> ・知識系→調べる能力 ・読解系→深く読む（行間読み・妄想読み） ※理科・社会は省略 上記は、科目ごとの“センス”であるともいえ、“科目本来の楽しさ”に繋がる。
習得方法 & 定着方法	<習得方法> 教えてもらう。（短時間で済むように、できるだけわかりやすい方法で教えてもらう。）	<習得方法> 自分で気づく。 (時間をかけて、あーでもない、こーでもないと悩みながら自分で発見する。)
	<定着方法> 知識を忘れないように反復演習をして定着させる。 暗記中心	<定着方法> 何が『見えない能力』なのか、何が重要なのかを日々意識させる。 そして反復トレーニングを通じて『習慣化』し、さらに感覚を向上させる。 知識より意識

◇受験と見えない学力

中・高・大、すべての受験においてこの『見えない学力』のレベルを判定できる特殊な設問の出題が増加傾向にあります。特に、上位の学校や中高一貫校の入試問題においてその傾向が顕著です。これは、『見える学力』に加えて『見えない学力』が高い生徒が将来のびる可能性が高いという事を気づいている先生が、これらの学校にはたくさんいるという事です。

パズル道場生に身につけさせる3つの習慣

パズル道場では、根幹となる基本理論やその理由となる説明を継続して実施し、基本理論に即した独自の評価基準とルールをもとに指導を行う事により、子どもたちが以下のような習慣を持つように育成します。

- ①人に聞くよりも自分で考える。さらには自分の作戦を考える。
- ②まずは何も書かないで回答することをめざす。（必要に応じて書く。）
- ③簡単な設問より難しい設問を選び、かつ、楽しみながら挑戦する。できない時間（解けなくて悩む時間）を楽しみ、ねばり強く取り組む。

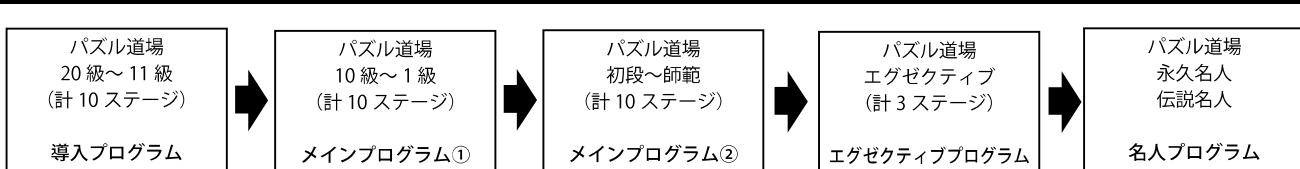
これらの能力は、算数のセンスだけでなく、これから的人生において、健康の次に大切な「問題解決能力」につながると考えています。問題が発生したときに、冷静に対応する精神力と高い仮説思考力があれば、よりベストな対策と選択を見出すことができ、ビジネスの世界でもそのように考えられています。

本来、算数教育とは、より早く正確に解答を求められるかという処理能力だけではなく、中学生、高校生、そして社会人になった時にも、重要な様々な思考力を育成させるための絶好の科目であるにもかかわらず、いつしか薄れつつあります。また、記憶と処理方法の効率化もあわせて重要な事ではありますが、それだけではセンスの育成にはつながる可能性があると思いません。

パズル道場は、高いセンスや思考力をもつた子どもたちを伸ばすとともに、苦手な分野も後天的に育成するためのプログラムです。

子どもの将来のために、「タフな思考力」を、より良い思考力を育成していきます。

パズル道場検定カリキュラム



パズル道場検定カリキュラム（詳細）

導入プログラム（20級～11級）

級	指先トレ	対戦式	平面								立体								論理			仮説		
			平面感覚 ①	平面感覚 ②	平面感覚 &指先トレ ③	平面感覚 &指先トレ ④	平面感覚 &指先トレ ⑤	平面感覚 ⑥	平面感覚 ⑦	平面感覚 ⑧	平面感覚 ⑨	立体感覚 ①	立体感覚 ②	立体感覚 ③	立体感覚 ④	立体感覚 ⑤	立体感覚 ⑥	立体感覚 ⑦	立体感覚 ⑧	論理感覚 ①	論理感覚 ②	論理感覚 ③	仮説感覚 ①	仮説感覚 ②
20級	かえるさん ジャンプ	対戦式 フォーブレイス	点描写①	点描写②	タングル1	タングル2	图形アート	かがみ	紙折り スタンプ	紙折り①	紙折り②	おしろづくり		積み木①	積み木②	うえから 積み木を なぞろう	展開図	さいころ コロコロ	比べよう ①	比べよう ②		めいろ		
19級	かえるさん ジャンプ	対戦式 フォーブレイス	点描写①	点描写②	タングル1	タングル2	图形アート	かがみ	紙折り スタンプ	紙折り①	紙折り②	おしろづくり		積み木①	積み木②	うえから 積み木を なぞろう	展開図	さいころ コロコロ	比べよう ①	比べよう ②		めいろ		
18級	かえるさん ジャンプ	対戦式 フォーブレイス	点描写①	点描写②	タングル1	タングル2	图形アート	かがみ	紙折り スタンプ	紙折り①	紙折り②	おしろづくり		積み木①	積み木②	うえから 積み木を なぞろう	展開図	さいころ コロコロ	比べよう ①	比べよう ②		めいろ		
17級	かえるさん ジャンプ	対戦式 ビルドイグ	点描写①	点描写②	タングル1	タングル2	图形アート	かがみ	紙折り スタンプ	紙折り①	紙折り②	おしろづくり		積み木①	積み木②	うえから 積み木を なぞろう	展開図	さいころ コロコロ	比べよう ①	比べよう ②		めいろ		
16級	かえるさん ジャンプ	対戦式 ビルドイグ	点描写①	点描写②	タングル1	タングル2	图形アート	かがみ	紙折り スタンプ	紙折り①	紙折り②	おしろづくり		積み木①	積み木②	うえから 積み木を なぞろう	展開図	さいころ コロコロ	比べよう ①	比べよう ②		めいろ		
15級	かえるさん ジャンプ	対戦式 ビルドイグ	点描写①	点描写②	タングル1	タングル2	图形アート	かがみ	紙折り スタンプ	紙折り①	紙折り②	おしろづくり		積み木①	積み木②	うえから 積み木を なぞろう	展開図	さいころ コロコロ	比べよう ①	比べよう ②	お話	めいろ	ビルデイグ	4フレイス
14級	かえるさん ジャンプ	立体四目	点描写①	点描写②	タングル1	タングル2	图形アート	かがみ	紙折り スタンプ	紙折り①	紙折り②	おしろづくり		積み木①	積み木②	うえから 積み木を なぞろう	展開図	さいころ コロコロ	比べよう ①	比べよう ②	お話	めいろ	ビルデイグ	4フレイス
13級	かえるさん ジャンプ	立体四目	点描写①	点描写②	タングル1	タングル2	タングル3	かがみ	紙折り スタンプ	紙折り①	紙折り②	おしろづくり①		積み木①	積み木②	うえから 積み木を なぞろう	展開図	さいころ コロコロ	比べよう ①	比べよう ②	お話	道をつくる	ビルデイグ	4フレイス
12級	かえるさん ジャンプ	立体四目	点描写①	点描写②	タングル1	タングル2	タングル3	かがみ	紙折り スタンプ	紙折り①	紙折り②	おしろづくり①		積み木①	積み木②	うえから 積み木を なぞろう	展開図	さいころ コロコロ	比べよう ①	比べよう ②	お話	道をつくる	ビルデイグ	4フレイス
11級	かえるさん ジャンプ	立体四目	点描写①	点描写②	タングル1	タングル2	タングル3	かがみ	紙折り スタンプ	紙折り①	紙折り②	おしろづくり①		積み木①	積み木②	うえから 積み木を なぞろう	展開図	さいころ コロコロ	比べよう ①	比べよう ②	お話	道をつくる	ビルデイグ	4フレイス

※『20級～11級』は、10級以降とは異なり練習→検定というシステムではなく、級ごとのプログラム（プリント&教具）をすべて終了した段階で合格とします。間違えた問題や、クリアできない教具は、何度も直しても最終的にクリアすれば合格です。

※『20級～11級』については、合格したプリントのみ持ち帰る事ができます。

メインプログラム①（10級～1級）

	立体図形	平面図形	数・推理・条件整理等	対戦式	プラスアルファ
10級	能力開発プリント 積み木	能力開発プリント タングラム①	天最パズル 道をつくる		能力開発プリント 点描写①
9級	フォーキューブ①		PDプリント 推理問題①	スティックゲーム (平面図形)	能力開発プリント 点描写②
8級	天最パズル ビルはいくつ見える（教具使用可）	能力開発プリント タングラム②	天最パズル 道をつくる	立体四目① (立体図形)	
7級	ナインキューブ①	PDプリント タイル①	PDプリント 推理問題②	スティックゲーム (平面図形)	
6級	PDプリント さいころコロコロ	PDプリント 紙おり①		立体四目② (立体図形)	能力開発プリント 点描写③
5級	天最パズル ビルはいくつ見える	PDプリント タイル②	天最パズル ナンバーリンク	スティックゲーム / セブンカード (平面図形)	
4級	エイトキューブ①	PDプリント 紙おり②		立体四目③ / セブンカード (立体図形)	能力開発プリント 点描写④
3級	ナインキューブ②		PDプリント 推理問題③	スティックゲーム / セブンカード (平面図形)	
2級	PDプリント はこ積み	天最パズル 四角に分ける		立体四目④ / セブンカード (立体図形)	
1級	天最パズル ビルはいくつ見える	PDプリント タイル③	天最パズル ナンバープレイス	立体四目⑤ / セブンカード (立体図形)	

メインプログラム②(初段～師範)

	図形教具パズル	立体图形	平面图形	数・推理・条件整理等	対戦式
初段	ルービックキューブ(2x2)① (立体图形)		天最パズル 四角に分ける	天最パズル 道をつくる2	スティックゲーム / セブンカード (平面图形)
2段	エイトキューブ② (立体图形)	PDプリント 多面体		天最パズル 道をつくる2	立体四目⑥ / セブンカード (立体图形)
3段	3角ピラミッド① (立体图形)		天最パズル 四角に分ける	天最パズル ナンバープレイス	スティックゲーム / セブンカード (平面图形)
4段	ルービックキューブ(2x2)② (立体图形)	PDプリント 切断①		天最パズル 道をつくる	立体四目⑦ / セブンカード (立体图形)
5段	ルービックキューブ(3x3)① (立体图形)		天最パズル 四角に分ける	天最パズル ナンバープレイス	スティックゲーム / セブンカード (平面图形)
6段	3角ピラミッド② (立体图形)	PDプリント 切断②		天最パズル 道をつくる2	立体四目⑧ / セブンカード (立体图形)
7段	ルービックキューブ(3x3)② (立体图形)		天最パズル 宝さがし	天最パズル ナンバーリンク	スティックゲーム / セブンカード (平面图形)
8段	ルービックキューブ(3x3)③ (立体图形)	天最パズル ビルはいくつ見える		天最パズル ブロック分け	立体四目⑨ / セブンカード (立体图形)
準師範	算数ジグソーパズル (平面图形)		天最パズル ブロック分け2	天最パズル 数当て	スティックゲーム / セブンカード (平面图形)
師範	スーパー4色キューブ (立体图形)	スペシャルPDプリント 総合		天最パズル たて、横にたす	立体四目⑩ / セブンカード (立体图形)

■『10級～1級』、『初段～師範』共通

※ PDプリントとは、中学入試の問題の改題です。

※「天最パズル」、「能力開発プリント」等、すべてパズル道場のバージョンです。

※ 対戦型以外の検定は、すべて制限時間が設定されています。

※ フォーキューブ・ナインキューブ・エイトキューブの検定では、生徒所有のものは使用できません。

※ 会場で使用している練習用・検定用教材は、家庭に持ち帰る事はできません。

※「タングラム」の代わりに「天地パズル」を使用することもできます。

エグゼクティブ＆名人プログラム

＜受験資格＞

エグゼクティブ1に受験できるのは、師範の資格保有者です。

エグゼクティブ1から順番にしか受験できません。また、1つのステージで項目A～Cすべてに合格できないと、次のステージの受験はできません。

ステージ	(項目A) ルービックキューブ3×3(6面そろえ)、スーパー4色キューブ、ナインキューブ、三角ピラミッドの連続クリアタイム	(項目B) 初段以上の生徒との立体四目対戦 先生との対戦不可	(項目C) ズレバ※1 所定の級・項目への合格 http://puzzle-dojo.com/biz
エグゼクティブ1	合計タイム 6分位内	6連勝	中級の空間把握 11項目・論理仮説8項目のすべてに合格
エグゼクティブ2	合計タイム 5分位内	7連勝	上級の空間把握 11項目のすべてに合格
エグゼクティブ3	合計タイム 4分位内	8連勝	上級の論理仮説8項目のすべてに合格
エグゼクティマスター(永久名人)	合計タイム 3分位内 ビデオ撮影※2	10連勝	永久名人の空間把握 10項目・論理仮説6項目のすべてに合格
伝説名人	—	20連勝	伝説名人の空間把握 10項目・論理仮説6項目のすべてに合格

※1 詳細は先生に聞いてください。

※2 エグゼクティマスター(永久名人)の項目Aのみ、検定試験を撮影します。

エグゼクティブ＆名人プログラムの表彰内容

・段の認定証とは異なる、表彰状となります。
・永久名人は名前入りの楯が贈呈されます。
・伝説名人は名前入りの楯と記念品、そして、パズル道場全国大会に無料で招待(自由参加)の資格が与えられます。
※本人の他に保護者1名の交通費を当方が負担いたします。(中学生以上は生徒のみ)
※在籍中のみの特典です。なお、招待の人数は毎年異なります。招待者は、様々な状況をもとに、毎年本部が決定します。招待者の対象となつた場合は、本部よりお知らせいたします。招待の対象とななくとも、一般の生徒同様に全国大会に参加する事は可能です。

めざせ！伝説名人！

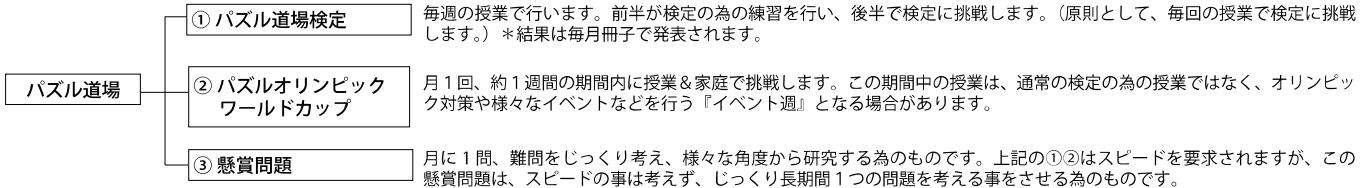


パズル道場の指導システム

パズル道場の授業は、『パズル道場検定』という検定試験に挑戦することを中心とした授業形態です。週1回 50分の授業です。検定は 20級から名人まで 35段階です。プリント教材、個人教具、対戦型教具の3種類の教材があります。

月に1回 web で『パズルオリンピック』に挑戦できます。これは、毎月決められたテーマを、指定された期間に全国各地の生徒とスピードを競い合い、上位入賞すると賞品が獲得できるシステムです。また、パズルオリンピックに加えて、海外の人達とオリンピック同様に web で競い合う『ワールドカップ』にも挑戦できます。(参加費用は受講料の諸費用に含まれております。) また、毎月難問をじっくり考える(研究させる)為の『懸賞問題』もあります。

このように、パズル道場の指導システムは『検定試験』『オリンピック / ワールドカップ』『懸賞問題』の3つの柱で成立しています。また、月に1回は生徒にパズル道場の理論を刷りこむ為の時間が設定されております。



パズル道場は『検定』『オリンピック / ワールドカップ』『懸賞問題』の3本柱で構成されています。
パズル道場の効果を高める為に、『オリンピック / ワールドカップ』『懸賞問題』に毎月挑戦するようにしてください。

◆パズル道場検定

パズル道場の授業は、『パズル道場検定』という検定試験に挑戦することを中心に行います。

パズル道場に慣れてきたら、その日に挑戦する内容(練習→検定)についても自分でできます。これは『主体的な行動無くして、主体的に考える(取り組む)子どもは生まれない』という理論のもと、このようなルールになっています。練習を行ったあと、その日に取り組みたい検定内容を申請し、検定に取り組みます。パズル道場の効果を高めるために、パズル道場の『基本理論』に基づいて取り組みます。基本理論の内容は、授業の最初に何度も繰り返し説明を行います。

ー 基本理論の説明ー

パズル道場では、『できなくても、考えた分だけ、かしこくなる』というパズル道場の理論のキーポイントを中心に子ども達にも理論説明を行います。パズル道場の基本理論は、指導者の為の理論ではなく、子ども達が能力を伸ばすために必要不可欠な『習慣を変える』方法や、それらをサポートする為の大(先生や保護者)が取り組む方法論なども記されています。

※基本理論は、生徒用 ID パスワードで『マイページ』(URL : <https://www.puzzle-dojo.com/pm/>) にログインすると無料でダウンロードできます。

ー 検定試験の空気感ー

検定試験は張りつめた空気の中で行なうことでセンス向上の成果が得られます。練習の時間は多少のおしゃべりをしながら楽しい雰囲気で行いますが、検定試験中は、一言でもおしゃべりをすると不合格となります。制限時間も厳守で行われます。

◆パズルオリンピック

パズル道場の検定試験のプログラムの土台となる能力(感覚)をトレーニングする為の『ベーシックトレーニング』というプリントがあり、パズル道場の授業の最初の約5分で取り組んでおります。(そのプリントは家庭に持ち帰れるようになっているので、実物を見てご確認いただく事もできます。)

この『ベーシックトレーニング』は、平面・立体・仮説・論理の4つに分かれしており、これを少しづつ継続する事により、パズル道場検定はもちろんの事、一般的な算数の学力アップにつながります。

この『ベーシックトレーニング』の効果をさらに高めるのが、パソコンを使って取り組む『パズルオリンピック』です。『パズルオリンピック』では、プリント学習はできないパソコンならではの方法でベーシックトレーニングに取り組みます。

パズルオリンピックでは、レベルSは6回、Aは8回、Bは10回、Cは15回まで挑戦できます。『ベーシックトレーニング』とは異なり、連続正解したものをタイム測定し、リアルタイムでランキングが発表され、上位入賞者には賞品が与えられますので、ゲーム感覚でありながらも、緊張感を持って取り組む事ができます。(スピードアップを図りながらミスを無くすトレーニングにもなります。)

挑戦出来る期間は、毎月 20 日～ 26 日の午前 5:00 ～ 午後 9:00 までに限定されています。

検定の資格(級・段)にあわせて4段階のカテゴリーに分かれていますので、初心者でも入賞できる可能性はあります。入賞できないとしても、挑戦する事を通して能力アップするプログラムです。月に1度、真剣に取り組む事を積み上げていけば、ビックリするような効果が得られます。

◆ワールドカップ

毎月 5 日～ 11 日の 7 日間、ワールドカップが行なわれ、パズル道場生はパズルオリンピックと同様に参加できます。(マイページに入口があります。)

ワールドカップの練習はマイページの『web トレーニング』、または教室専用の『ズルバ』でできます。なお、ワールドカップにはパズル道場には含まれていない『数量感覚』が出題されています。数量感覚のトレーニングは『web トレーニング』や『ズルバ』で行えます。

◆懸賞問題

知識的な要素は、あまり必要のない算数の問題(いわゆる『ローテク算数』の問題)の中の難問を、時間をたっぷりかけて取り組ませるのが懸賞問題です。

『難問に時間かけて取り組む』という事は、きわめて重要な事ですが、なかなかそのような時間はつくれません。パズル道場の授業では、それが実践できるのですが、それをさらに高いレベルで行う為に作ったのが懸賞問題です。

パズル道場の授業は1回約1時間ですから、難間に取り組むと言っても限界があります。懸賞問題は、約2週間考える時間があるので、暇な時に何度も何度も考えたり、また、解けたとしてもそれを様々な角度から確認することができます。

また、難問といっても、知識的な要素はあまり必要ないので、手も足も出ないという問題ではありません。よって、ねばり強く挑戦する事が可能です。レベルの高い問題、かつ、中学の入試問題を中心にパズル道場検定の問題とは異なるものを出題しています。

<懸賞問題の正しい取り組み方>

①問題の部分をコピー又はプリントアウトして、期間中持ち歩きます。(毎月 15 日～月末が応募期間です。)

②時間がある時に、少しずつ、何度も何度も考えて挑戦します。

③問題文に特別な指示がない限り、図を書いたり、積み木などを使ったりしてもかまいません。ただし、自分以外の人からヒントを聞くのはルール違反です。絶対にしないで下さい。懸賞問題が無意味なものとなります。

④10分や15分くらい考えて答えが出たとしても、必ず何度もやり直します。答えが出ても後日様々な角度から確認し、前述の通り約2週間という期間がありますので、少しずつ繰り返し取り組み、ある程度自信があっても、後日必ずやり直すようにします。

保護者の方へお願い

①算数のセンス育成のためには、『考える習慣づけ』も重要なポイントの1つです。習慣づけのためには、常日頃から考える機会をたくさん設ける必要があります。

『オリンピック』『ワールドカップ』『懸賞問題』『web トレーニング』は、授業以外に家庭でも取り組めるプログラムとなっていますので、取り組むようお声掛けください。(ただし、言われてやるのでは自主性が失われますので、本人がやる気になるような声掛けをいただくようお願いいたします。)

②パソコン(インターネット)を使うものが多くありますので、パソコンの操作方法についてはご指導をお願いいたします。なお、パソコンの操作以外は一切手助けしないでください。パズル道場では、ヒントを言うのは一切不可です。効果が低下してしまいますので十分ご注意ください。

パズル道場 特別顧問

ピグマリオン学育研究所 伊藤恭 先生

幼児教育および能力開発の理論・プログラム作成・指導のすべてにおいて、国内屈指の先生です。

とくに、幼児のうちに小 2~3 程度の知性を育てる『ピグマリオンメソッド』は、多くの子ども達の能力を驚異的に伸ばし、幼児教育界に革命をおこしています。

これらのノウハウをもとに、パズル道場 特別顧問として様々な形でご協力いただいております。

特に、パズル道場スタート時において、様々な有形無形のご尽力を賜りました。伊藤先生の存在なくしてパズル道場は現在の形にならなかつたと言っても過言ではありません。

なお、伊藤先生と E プランニング/パズル教育研究会 代表 山下善徳とは、お互いの理論やプログラムを利害関係無くして自由に活用できるという特別な提携関係にあります。

これは、単なるビジネスとしての提携ではなく“良いものであれば子供たちの為にお互いを活用しよう”という考え方からですので、単純にブランドを変えて販売するとかではなく、お互いが自分のプログラムを強化する上で、相手の理論やプログラムの一部を引用又は改良して自分のプログラムに組み込むという形の提携であり、かつ、信頼関係の上に成り立っている為、一般的な提携とは大きく異なるものです。

パズル道場は、毎年バージョンアップをし続けていますが、これは前述の提携関係があるということが不可欠であることは 言うまでもありません。